

OCPA通信 2025年5月号



私たちについて

沖縄沿海保全同友会（OCPA）は、自然と共に生き、沖縄の美しい沿岸環境を未来の世代へと守り継ぎたいと願う人々の中心的な存在となることを目指しています。

私たちは、同じ志を持つ人々をつなぎ、さまざまな環境課題に継続的に取り組むことを目標に、日々活動しています。

主な取り組み内容は以下の通りです：

- 絶滅危惧種のウミガメ保護活動（ちゅらむら）
- 漁具や海中清掃活動（ゴーストネット・バスターズ）
- 定期的なビーチクリーン活動（YBCN）
- 沖縄中部沿岸の環境保護を促進するためのモニタリングや地域関係者との連携活動

2024年には、約50名の地域ボランティアの協力により、延べ30kmのビーチを毎日見回り、24個のウミガメの巣を保護し、2,000匹以上の子ガメたちを無事に海へ送り出すことができました。

私たちは、持続可能な経済活動と環境保護が共存できることを証明するために、行政や企業への働きかけも行っています。

私たちの目標は、「沖縄を日本のエコツーリズムの中心地」とすること。そして、その過程で過度な観光開発による環境破壊を防ぐことです。

年間30回以上のセミナーを開催し、子どもたち、学生、企業などに向けて、海洋保全の重要性を伝えています。

私たちのビジョン：

今日生まれたウミガメの赤ちゃんたちが、20～30年後にまた自分の生まれた浜辺に戻ってきて、「帰ってきた」と感じながら産卵できるような未来を築くこと。

ウミガメを象徴として、沖縄の海とビーチの美しさを、次の世代へと受け継いでいきます。



🌟 今月の特集

教育

今月、私たちは沖縄の小学校の生徒たちと交流する素晴らしい機会をいただきました！ウミガメに関する豆知識を紹介したり、SDGsや海洋保全の大切さについて楽しくわかりやすく学ぶ時間を過ごしました。

OCPAでは、次世代への教育を活動の中心に据えています。なぜなら、真の持続的な変化は、すべての世代に「気づき」と「感動」を届けることから始まると信じているからです。



3月には、OCPA設立5周年を記念して、沖縄初の「海のための5kmファンラン」を開催しました！この「シェラレーション」では、地域の皆さんと一緒に楽しく走りながら、海洋保全の重要性への理解を深め、活動資金を集めることができました。当日は100名以上の参加者が集まり、笑顔あふれるイベントとなりました。協賛企業のご協力により、多くの方が素敵な賞品も手にしました！



応援したい方へ

「ウミガメの巣アダプション（里親）プログラム」がスタートしました！1つの巣をスポンサーとして支援し、卵の孵化までの過程を見守りながら、ウミガメとその命を守る私たちの活動に参加しませんか？

寄付をお考えの方へ

私たちの活動には資金が必要であり、関心を持って支えてくださる皆さまのご協力なしには成り立ちません。いただいたご寄付は、必要な機材の購入やボランティアの支援に充てられます。どうぞご支援よろしくお願いたします。



OCPA ゴーストネット・バスターズ

2021年から、OCPAは「ゴーストネット・バスターズ」と呼ばれる特別な活動を主導してきました。この活動は、沖縄周辺の海域に残された有害なゴーストネット（放置された漁網）を見つけ出し、除去することを目的としています。

5月26日には、読谷村の内湾礁湖にボランティアとインターンのチームを派遣し、海洋生態系に深刻な脅威を与える放置漁網の調査を行いました。チームは500平方メートルの範囲に分かれて散開し、岩やサンゴの間に隠れた数十箇所の絡まったゴーストネットをGPSで記録しました。推定総重量は約1トンにのぼります。これらの見えない“殺し屋”は、海の生き物を捕らえ、サンゴを傷つけ、何年にもわたって海を汚染します。これまでの活動により、私たちは数トンに及ぶ大規模な漁網の除去に成功し、海洋ごみの長期的な危険性についての啓発も進めてきました。この取り組みは、より清潔で安全な海を目指す私たちの使命の一步に過ぎません。

来月には、読谷漁業協同組合の協力を得て行う漁網回収作業の報告をお届けできることを願っています。



カナダを拠点とする「グローバル・ゴーストギア・イニシアチブ（Global Ghost Gear Initiative）」は、私たちを日本における海洋清掃とゴーストネットのアップサイクル活動の代表に選びました。彼らの重要な活動にぜひ「いいね！」をお願いします！

このプログラムは、～のご支援により実施されています



地球環境基金

Japan Fund for Global Environment

沖縄ウミガメ保護プロジェクト ちゅらむらの活動



4月18日、今年初めてのウミガメの巣を発見し、現在までに過去最多の17個の巣が確認されました。新たに確認された巣のうち、複数は絶滅危惧種であるタイマイ（ホークスビル）ウミガメのものと考えられています。これは、カメの這った跡や卵の大きさから判断しています。

この沿岸でまかれていた除草剤が卵に害や悪影響を及ぼす心配があるため移動の必要があると判断し、慎重に卵を近くの浜に移設しました。この地域でのタイマイの巣の発見は非常に珍しいことであり、特筆すべき成果となります。

私たちは引き続き注意深く監視し、産卵シーズンの進行に合わせて最新情報をお届けしていきます！



知っていましたか？

ウミガメの一つの巣には最大で約150個の卵が含まれていますが、生まれた子ガメのうち、大人になるまで生き残るのは数千匹に一匹と言われています。だからこそ、一つ一つの命を守ることがとても重要なのです。すべての卵が大切なのです！

残念ながら、万座リゾート近くの崖下で、放置された漁具に絡まって溺死したタイマイ（ホークスビル）ウミガメがダイバーによって発見されたとの知らせが入りました。私たちは、沖縄美ら海水族館の仲間に連絡を取り、タイマイの胃内容物に関する重要な長期研究のためのデータ収集を依頼しました。彼らは現場に駆けつけ、解剖を行って研究に必要な臓器を採取しました。すべてが終わった後、私たちはそのカメに敬意を表して丁寧に埋葬しました。

（※映像には衝撃的な内容が含まれています。こちらからモアナさんが共有した動画をご覧ください。）

ゴーストネットから海洋生物を守る緊急性を改めて訴える出来事です。



こちらで私たちの活動をフォローしてください
（または）
私たちの冒険をこちらでフォローしよう

沿岸清掃活動



ドリー

#85



2020年に私たちの大切な読谷村周辺の沿岸清掃活動を開始して以来、地域の汚染やゴミのアップサイクルに対する意識が大きく高まりました。その結果、活動の範囲を隣接する村々にも広げ、時には数時間かけて最も汚れたビーチを探して清掃に向かうこともあります。

数千人のボランティアの皆さまのご協力のおかげで、もうすぐ100回目の清掃記念を迎えられることを誇りに思います！

5月24日には恩納村の谷茶で85回目のビーチクリーンアップを実施し、大成功を収めました。献身的なチームの努力により、沿岸から大量のゴミを回収することができました。



5月に私たちが回収したもの：

- ブイ5個
- ロープ47.5kg
- 可燃ごみ63.4kg
- 金属とガラス41kg
- 大きな薬品ドラム缶1個
- 大型フェンスのパーツ2枚
- その他多数...

取り除かれた一つひとつのアイテムが、沿岸の自然の美しさを取り戻し、有害な汚染から海洋生物を守るための大きな一歩となっています。参加してくださった皆さまへ心から感謝申し上げます。皆さまの熱意と献身が、活動の原動力です！

今回で85回目となる清掃活動は、海洋生物を守り、地域の環境意識を高め、共通の目標に向けてコミュニティを一つにする大切な機会となっています。各回の清掃は私たちの取り組みへの強い想いと、その影響力の拡大を示しており、私たちはこの勢いをとても誇りに思っています。

直近のイベントでは、60名の素晴らしいボランティアが参加し、沿岸から200kg以上のゴミを回収しました。プラスチックボトルや漁網から、砂に隠れたマイクロプラスチックまで、一つひとつのゴミを取り除くことが大きな意味を持ちます。

時間とエネルギーを捧げてくださったすべての参加者に深く感謝します。これは、個人が集まれば、本当の変化が起こせることの証明です。これらの清掃活動はビーチの健康を改善するだけでなく、他の人々にも行動を促し、持続可能な社会をみんなで作り上げていくための共同の努力となっています。

このプログラムは、~のご支援により実施されています。

GS
GLAM DAY STYLE
HOTEL & RESORT
OKINAWA YOMITAN
www.glamdaystyle.jp/



今後のイベント情報はぜひフォローしてください

♥ サポーター紹介

Rotary

東大阪東ロータリークラブ



Rotary

東大阪東フューチャー
ロータリー衛星クラブ



Rotary

小田原中ロータリークラブ



今月は、素晴らしい3つのロータリークラブ：
東大阪RC、小田原中RC、そして大阪フューチャー
ロータリー衛星クラブを紹介できることを光栄
に思います。2025年のちゅらむら・ウミガメス
トランディング・救助対応チームへの惜しみない
ご支援に心より感謝申し上げます。

25万円のご寄付のおかげで、ボランティアのた
めの必要な研修を実施し、必要な機材を購入す
ることができました。これにより、沖縄で頻発する
ウミガメの漂着事案に迅速かつ効果的に対応でき
るようになり、地域の保全活動への影響力をさら
に強化することができています。

特に、大阪を拠点とする代表の城戸さんに心より感謝申し上げます。城戸さんのおかげでこの素晴らしいご縁が築られました。私たちは、海洋生物の保護に向けた彼らのご支援とパートナーシップに深く感謝しています。



戦略的提携

私たちは、ベルギーを拠点とするWaste Free Oceans（ウェストフリーオーシャンズ）から認められ、西太平洋地域における海洋汚染削減のための実践的な解決策を推進する共同パートナーシップの提案をいただいたことを大変嬉しく思います。



5月に祝った記念日

世界希少・絶滅危惧種の日 5月16日
世界カメの日 5月23日
国際生物多様性の日 5月22日

6月の今後の記念日

世界環境の日 6月5日
世界海洋の日 6月8日
世界ウミガメ週間 6月16日



ありがとう!



地元の二人のアーティストに感謝します。素晴らしいアート作品を制作し、私たちの本部オフィスに寄贈してくださいました。新垣優香さん（紅型作家）と、山口有紀子さん（オキコーストオーシャンアート、レジン&海洋ゴミ専門家）です。ぜひ本部事務所にお立ち寄りいただき、壁に息づくこの圧巻の作品をご覧ください。（非売品です）

お知らせ!

発表!

2026年の国際ウミガメ協会（ISTS）年次シンポジウムの日程と開催地が、来年2月にハワイで行われることが発表されました!!

私たちは、数名の優秀なボランティアを沖縄代表としてウミガメの保護・研究の世界に送り出すため、皆さまのご支援による資金調達をぜひお願いしたいと思っています。



OCAニュースレター 5月号 編集者・インターン：
ガスパール & マーティン（フランス）

レスキュー #32

これは、肺が破裂して空気が腹腔内に漏れ出し、潜って餌を取ることができなくなる「バブルバット症候群」に苦しむ幼いアオウミガメの緊急救助の際に撮影された写真です。

このカメは沖縄美ら海水族館へ搬送され、現在治療を受けています。回復の見込みは良好で、近いうちに放流に参加できることを楽しみにしています。